

今ありて

☆学校教育目標☆

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
～多様性を認め合える、穏やかな教育環境づくり～



文責：新部操

※ブログ形式で学校の様子を発信しています。ぜひご覧いただき、ご家庭での話題となれば幸いです。



まずは、「令和6年能登半島地震」にて、被害に合われた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。被災地域の一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

さて、今年のお正月は天気にも恵まれ、希望に満ちた令和6年を迎えられたことと思います。法華経寺祖師堂屋根の補修工事も終わり、約1年半ぶりに全景を見ることができました。シンボルの銀杏もどっしりと青空に映えています。本年もどうぞよろしく願いいたします。

3学期は、まとめの学期であるとともに4月からの生活につなげる大切な学期です。あらためて「今ありて」の意識と「志」を強く持ち、一日一日を大切に生活してもらいたいと思います。

○健康教育講演会 いのちの学習

11月13日(月)第3学年は、日本助産師会より講師をお招きし、「いのちの講演会」を行いました。講演では、命の尊さや性に関する知識などを通し、「今の自分を大切にすること」についてお話をいただきました。



<生徒の感想>

- * とてもデリケートで触れにくい話題なので、このように講演会を通し大切なことを学ぶことができてよかった。SNSなどの正しいかわからない知識を信じ過ぎるのはとても危ないし、生理が始まっている時点で自分がいつ妊娠してもおかしくない事を改めて実感した。どこか他人事な部分があったが今回の講演を聞き身近に感じる事ができた。
- * 今日いろいろな話を聞いて、改めて自分の体を大切にしようと思いました。自分のことを一番知っているのは自分なので、心身ともに責任をもって守り続けたいです。また、私たちがここにいるのは本当に奇跡で10円玉を海に投げてもう一度見つけ出すより難しいことだと知ってとても驚きました。軌跡をかみしめて、自分も相手も大切にしていきたいです。自分の行動、発言、思考が明日の自分を形作っていると知ったので毎日を大切に自分に正直に真剣に向き合っていきたいです。もう、子供を産める体になっているからこそ正しい知識を身に付け、自分も将来のパートナーも周りの大切な人も、誰も傷つけないようにします。

○大空学級 合同学習発表会

11月25日(土)大空学級は、市川文化会館大ホールにて行われた合同学習発表会に参加しました。3年ぶりに合同で行われた今年は、「四中ストレッチ」と合唱「365日の紙飛行機」を披露しました。大きな舞台上で堂々と発表することができました。終了後は、みんな汗いっばいで達成感あふれる笑顔がとても印象的でした。



○地区別音楽会

12月9日(土)本校の体育館で「四中ブロック地区別音楽会」が開催されました。中山小・若宮小・第四中の吹奏楽部が順番に日頃の練習の成果を発表し、四中は、「アラジンメドレー」「We Wish You a Merry Christmas」の2曲を披露しました。最後は三校合同で「ミックスナッツ」の演奏です。約100名の合奏による美しいメロディーが体育館中に響き渡り、みんなで仲良く楽しく演奏できました。これからもブロックの交流が続いていくことを期待しています。



○三年生保育実習



12月に入り、3年生の家庭科の保育の領域で保育体験が始まりました。1クラスごとに自作のパペットを持ち、若宮保育園に向かいます。園児たちは、大喜び。生徒たちも普段は見せない優しい笑顔で園児たちの相手をしていました。帰りには、園児から一人ずつヒマワリの種をお土産にいただきました。

わずか1時間程度の短い時間の交流でしたが、心温まる体験をさせていただきました。中学生が帰った後、園児たちは寂しくてみんな泣いてしまったそうです。

○被爆者語り部のお話を聴く会

12月6日(水)第2学年は、市川被爆者の会から井上様にお越しいただき、長崎での被爆体験を伺いました。ご自身は中学生の時、一瞬で7万人の命を奪った原爆に遭遇したそうです。「皆、その時を思い出し、語りたりたがらないが、92歳になっても語り続けているのは、戦争の悲劇を後世に伝えるために生かされたと思っている。二度と戦争を起こしてはならない。若い方々に二度と同じ悲劇を味わわせてはいけないとの思いで続けている。」と語られていました。今でも語った後は、食事ものどを通らず、夢見も悪いそうです。まさに今、世界で2つの戦争が行われている中、生徒たちは、何を感じ、どう考えたのでしょうか。



— 沖ノ鳥島保全 —

本校第1期生の梅野様より、沖ノ鳥島のサンゴと保全工事の様子を収めた写真を寄贈していただきました。

ご自身がこの保全工事に直接かかわり、指導、指揮をされていたそうです。昭和62年度から平成元年度の3年の間、2か月交代で200名が船に寝泊まりし、護岸工事を進めたそうです。理科室前の展示棚に掲示してあります。

